



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2013-2014 Rotary International District

秋の奥胎内



ガバナー 山崎 堅輔

事務局：〒959-2627

新潟県胎内市野中 490-3 新和ヒルズ 2F

TEL0254-28-8822 FAX0254-28-8826

E-mail:k.yamazaki@rid2560niigata.jp



CONTENTS

表紙ページ	1
ロータリー財団月間 寄付について山崎 堅輔ガバナー.....	2
ロータリー財団月間によせて 野澤正信 副委員長	3
第7分区 IM 報告	4
第4分区 IM 報告	6
第1分区 IM 報告	7
第3分区 IM 報告	9
第6分区 IM 報告	10
第1回米山奨学委員長セミナー 報告	11
ライラ研修会 報告	12
地区大会記念親睦ゴルフ大会 報告	13
山崎年度 防減災セミナー 報告	14
2014年シドニー国際大会ご案内	16
ハイライよねやま 163号	17
文庫通信	19
第2560地区 2013-2014年度9月末 会員数および出席報告	20
裏ページ	21

寄付について

国際ロータリー第 2560 地区
ガバナー
山崎 堅輔 (中条 RC)



ロータリーの奉仕を考えると、ついつい大きなことをしなくてはと考えると、動きが取れなくなることがありますが、奉仕は小さくとも、確実に実践を広げていけば大きな波となり、世界は変わることには気付かなければなりません。

ところで、ロータリー財団は景気の良い時に膨らんだ多くの奉仕のプロジェクトをそのまま引き摺り、会員減少に伴ってより多くの寄付を求める傾向にあります。

私は嘗てキリスト教の日曜礼拝に誘われて出席したことがあります。礼拝の後牧師さんの説教が終わったとき、寄付を募る籠が廻ってきました。その時私は牧師さんに尋ねました。どれ位の寄付が妥当なのでしょうか。牧師さんは「あなたの胸がちょっと痛む程度のものでしょうか。」と仰いました。

礼拝に来ているクリスチャンの中でも、夫々所得の違いはあると思いますが、それに比例するのみならず、胸の痛み方はその人その人の色々な要因も拘わって、かなりの違いが有るだろうと推測します。

ロータリーに於いては、都市部の経済活動の活発な地域と、地方の特に中・山間地域と言われる所では、人口の過疎化、高齢化、強いては経済縮小へと大変厳しい環境となってきました。この様な中でR Iからの要請という事で、上位下達の形で一律の寄付を募ることに付いては、些かの違和感を持たざるを得ません。

この様な事が長く続けば、「ロータリーは寄付ばかり要請してくる」と言う風評となり、折角の貴重な浄財で以って、世の中で良いことをしているにも拘らず、風評が独り歩きして会員増強の障害の一つになるかも知れませんし、見直しの時期に来ている様な気がします。

ともあれ、11月はロータリー財団月間です。地区補助金、財団の奨学生事業、人道的諸事業に付いての理解を深め、財団の推進に役立つプログラムを実施して頂きたく存じます。ご活躍をお祈り申し上げます。

ロータリー財団月間に寄せて

ロータリー財団 副委員長
野沢 正信（新潟北 RC）



ロータリーには毎月いろいろな月間があり、私達ロータリアンが日々忘れていくロータリーの活動分野に思いをはせ、改めて感じる貴重な月間かもしれません。

その中でもロータリー財団月間は、ロータリーの根幹をなす土台ですが、普段はあまり考えが及ばないかもしれません。

ロータリー財団の使命は、「ロータリアンが健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成することです」と崇高な理念を掲げていますがこれらを実行するには少しの勇気と一歩を踏み出す行動が必要です、言葉ではなく実行なのです。

ロータリー財団はアーチ・クランプ氏の提唱で 1917 年に基金として発足し「世界でよいことをしよう」の標語のもと 1928 年の国際大会でロータリー財団と名付けられました。こうした歴史的背景や使命を知ることにより、改めてロータリー財団に思いをはせることは非常に意義深いものがあります。

私達豊かな社会に生活できるロータリアンにとって、身近に感じられた出来事は東日本大震災ではないでしょうか、いつ自分達に起こるかかわからない不確かな世の中、いつ被災者になり援助される側になるかしのことを考える必要があります。地球の裏側で起きている苦境を自分たちの立場として考えることは非常に難しいことですが、あの震災が援助する立場の日本に、多くの国の人々やロータリアンが援助した事実を忘れてはいけません。

「ローマの休日」で有名なオードリー・ヘップバーンが女優を引退後国際援助機関のユニセフでアフリカの難民支援で述べています、人間は二つの手を持っています、一方は自分のために、もう一方は自分より困っている他人のために使いなさいと、この言葉はロータリーの使命にも似て非常に解りやすく言い表しています。2017 年にロータリー財団が創立 100 周年を迎えるに当たり「未来の夢計画」がスタートし、ロータリー財団は新しい補助金制度において「世界で良い事をしよう」というモットーのもとで主に人道的奉仕活動に専念することにしたのです。

財団を通じて世界でよいことをしようと呼びかけて、最も成功している例はポリオ撲滅運動ではないでしょうか。一人の力では限られますが、財団を通して行えばもっと多くの良い事が出来る証明ではないでしょうか。

このようにロータリー財団も社会の変化に対応すべく多様な奉仕活動に新しい息吹を吹き込み、ロータリアンにも変化に対応してもらいたいと望んでいます。多様な奉仕活動の原点であるロータリー活動を支えるロータリアン一人一人の寄付が、地域や世界に役だっていることをこの財団月間を通して改めて認識することがロータリーを知る財団月間の役目ではないかと思えます。

「義」の精神でクラブ活性化と会員融和を

第7分区 ガバナー補佐
馬場 兼一（越後春日山 RC）

去る9月14日、上越市長村山秀幸様、第2560地区ガバナー山崎 堅輔様、パストガバナー東山 昶也様をご来賓としてお迎えし、総勢194名のロータリアンからご登録いただき、国際ロータリー第2560地区・第7分区 IM が盛大に開催されました。

今年は越後春日山 RC よりホストクラブを務めていただきました。第7分区の中では一番歴史の浅いクラブですが、“義の精神でクラブ活性化と会員融和！”をスローガンに掲げ、会員一人ひとりが自分の役目を遂行されたことに感謝します。

【第1部—式典】点鐘に続き、「国歌」・「ロータリーソング」・「ロータリーの目的」を斉唱。その後ご来賓の皆様より心温まるご祝辞をいただきました。あらためて御礼申し上げます。



ロータリーの目的唱和



上越市長 村山秀幸 様



第2560地区ガバナー
山崎堅輔 様

【第2部—基調講演】では『『ロータリアンと中核的価値観』—東日本大震災後の福島の現状と課題—』という演題で第2530地区パストガバナー大橋廣治氏による基調講演が行われました。続いて参加9クラブの会長をパネラーとしてお迎えし「クラブ活性化のための会員増強」についてパネルディスカッションが行われ、クラブ活性化のためのそれぞれの取り組みを発表していただきました。



基調講演
大橋廣治 様



参加9クラブ会長によるパネルディスカッション

高田 RC、直江津 RC、新井 RC、糸魚川 RC、妙高高原 RC、高田東 RC、
糸魚川中央 RC、頸北 RC、越後春日山 RC



【第3部-懇親会】では、ホストクラブ会員による詩吟や舞踊のお披露目があり、第7分区9クラブが「融和」という字の如く、一つにまとまり大盛況で感動しました。

あらためて、楽しく奉仕活動を継続していくにはクラブの環境が大切だということを感じたと同時に、今回のIMは「クラブ活性化の道標を見出す最良の日」になったことを確信します。



詩吟



舞踊「高田の四季」



舞踊「さくら小唄」



「謙信出陣」



「謙信出陣」



「手に手つないで」



山崎ガバナーターとともに



会場全体が一体に！

IM テーマ「会員増・退会防止」

第4分区 ガバナー補佐
鈴木 守男（三条東 RC）

第4分区 IM を9月21日に開催いたしました。

山崎ガバナー、中條、馬場両パストガバナーを来賓にお迎えし、第4分区 11 クラブから 179 名が参加いたしました。

テーマは「会員増強・退会防止」です。これは歴代クラブ会長が運営方針の中で最も重点をおいているものであり、各クラブの存続をかけたものでもあります。しかしながら IM では真正面から取り上げられることが無かったということでもあります。

中條パストガバナーから、なぜ会員増強と退会防止が必要なのか、第2560地区及び第4分区の会員数の推移と分析について、の基調講演をいただきました。

その後、パネルディスカッション形式で5クラブの代表に登壇いただき、各クラブの取組みの現状と問題点について発表していただきました。

5クラブの代表は、三条 RC 小越前増強委員長、加茂 RC 長谷川会長、加茂 RC 三浦増強委員長、三条南 RC 大溪増強委員長、三条北 RC 丸山会長です。コーディネーターは三条東 RC 小出会長がつとめました。

5クラブにパネラーをお願いした理由は、それぞれ永い歴史があり、かつ地域社会に密着した活動を継続的に実行しており、会員増強・退会防止に成果を挙げているクラブだからです。

会場の参加者は我がクラブの今後の活動展開を考えながら、非常に真剣に聞き入っておられました。まさに全員参加のパネルディスカッションでありました。

山崎ガバナーから「誠に時宜に叶ったテーマである」と、来賓としてのご挨拶をいただきました。

今回の IM を契機として、原点に戻り、RC の将来を考え、真剣に取り組みたいものです。



第1分区 IM 報告

～RLI(ロータリー・リーダーシップ研究会)方式のIMを経て～

第1分区 ガバナー補佐
桑原 明 (新発田城南 RC)

思い返すと昨年の10月21日に、石本年度の小山楯夫 元地区幹事からく研修の先進地区である2840 地区群馬高崎で開かれる【RLI研修セミナー】と言うのがあから一緒に行こうーてば・・・と誘われ、小職は9月にガバナー補佐エレクトに委嘱されたばかりであることから、他地区の研修を受講するのも自らの勉強も含め、よし行ってみよう！・・・となり、RLIの意味も分からないまま、電車で飛び乗り初参加させてもらい「RLI研修」を受講体験し(年4回に分けてRLI研修のシリーズだが)初回のみを受講でしたが、「研修の必要性・手法・あり方」に【感動した】一日でした。そんな経緯から今回のIMの構想の意図となりました。

多方面からご協力に心から感謝申し上げます。

振り返ると、自らも長年ロータリーに所属していても、ロータリーって本当に何なんだろう・・・？とか「出席の義務や会員増強や財団米山への寄付等・・・は、36年前の入会以来からIRも含め地区・クラブ共に、現在に至る最大の組織運営」の永遠のテーマとなっている。

30代後半から4-60才台の成功裏にある職業人の個人集団であって「そろそろ俺も私も世の中に喜ばれ、役立つ活動」をしたいと想うのは人間として自然の行動と思われる。

その意図で入会しても2-3年で退会、正直クラブ内での親睦活動(酒席の場?)が先行し、真のロータリー理念を理解しないまま去るメンバーが多かった。

それは、山崎ガバナーも行動規範に挙げたように【研修の強化⇒ロータリー活動の深耕】そのものの危機感の想いからと思われる。

又、現在クラブはR情報委員会が中心となって研修されておりますが、「地区研修委員会」も充実化する中、僭越ながらもクラブのR情報委員会(正直意味不明)は地区と連動した「クラブ研修委員会」の名称とし、地区・クラブ共に任期も3年委員会とすることがベターと思われます。

今回のIMでは地区を超えての講師の方々の協力により【ロータリー・リーダーシップ研究会(RLI)]をテーマとしましたが、初体験の参加者皆様にはRLI方式の研修手法(双方向Dxiスカッション)導入には賛否両論はあると思われますが、是非、この手法を生かしロータリーの活性化に一助となれば幸いです。

尚、最後になりますが、月末近い晴天の日曜日でしたが、最後まで熱心に参加された山崎ガバナー始め分区会員の皆様や他分区から3名のG補佐の参加や、2840地区の研修委員であられる本田DG・横山PG及び地区研修委員会やホストクラブの新発田城南RCの卓越したご協力に感謝申し上げます。

開催日：2013年9月29日(日)
会場：月岡温泉 ホテル清風苑
参加総数：160名



RLI 会員増強編 登壇受講



RLI 会長編 登壇受講



RLI 笑いの会場受講



RIL 説明



懇親会 群馬新潟講師

第2560地区 第3分区 IM報告

第3分区 ガバナー補佐
草野 満(新津中央 RC)

2013年10月5日(土)、新津中央ロータリークラブをホストクラブとして、新潟市秋葉区の新津中央ロータリークラブ例会場で2013-14年度のインターシティ・ミーティングが多くの第3分区ロータリアン参加の下、盛会に開催されました。

今回のIMは先ず始めの式典では山崎堅輔ガバナーからご自身の経歴や趣味などのお話をお聞きしました。ロータリー活動と相通ずるところがあり、大変貴重なご講演となりました。

続いて第一部では、会員同士がお互いを身近に感じられるようにということで、湯田上落語村のご協力を頂き(落語の口演者は田上あじさいロータリークラブの会員)、お腹の底から声を出して大笑いさせていただきました。声を出して笑うことでリラックスし、気持ちのゆとりを持つことが出来ました。さらに新津少年少女合唱団の子どもたちからも美しい歌声を披露していただきました。懐かしい歌を満喫しながら共に大きな声で合唱することでそれぞれが連帯意識を共有し、一層交流を深めることができました。

第二部の懇親会に移り、フルートの演奏を静かに聴き入り、大人の演奏を味わいました。

本番の懇親会では新津中央ロータリークラブのメンバーが各テーブルにそれぞれ2名ずつ座り、それぞれが「おもてなし」の心を示してくれました。お陰様で会員同士の交流が少なかった第3分区内のロータリアンが、久しぶりに顔を合わせたIMで、お互い笑顔で語り合い、名刺交換などをして今までにない交流の場となりました。近隣の地域に在住していても、ほとんど交流がなかったことから今回は特別に有意義であったと思います。

今後ともこうした真の交流が出来れば、それぞれが一層身近な存在になり、ロータリー活動に魅力を感じることで、退会防止に一定の成果が上がるものと期待しております。今後とも、ロータリー活動を通して厚き友情を重ね、地域の良き先導者としてまいりたいと思うIMとなりました。

参加協力していただきました皆さまに心から感謝申し上げ、第3分区インターシティ・ミーティングの報告と致します。



第6分区 I・M 簡略ながら有意義に

第6分区 ガバナー補佐
横山 紀雄 (越後魚沼 RC)

10月6日(日) 第6分区 I・M、80名参加登録にて開催しました。

当番・会場は越後魚沼。会長 坂田、幹司・司会 小島、実行委員長 三友 以下総勢

9名プラス女性2名(事務局ほか)。参加は十日町・小千谷・雪国魚沼・十日町北・津南の各クラブ諸君。

オープン後 小千谷 佐々木ガバナーエレクトのご挨拶に続き、各クラブ会長より本年度重点事業発表があり、頼もしい限り。

記念講演は、平澤 文雄 先生(魚沼市・旧小出 出身78歳・生涯現役)のお話。「人は良くも悪くも、自分の思う方向へ向かう」「夢亡き人に幸福なし、渡り鳥的本能プラス科学的処方により達成感、心の優しさ、身体と意志の強さが得られる」「健康寿命を引き上げ社会貢献すべし、タダメシくうな」等々教わる(勝手解釈)。

名物男 清塚副会長による閉会宣言。席の暖まる間もない 山崎ガバナーに おいでいただきました。タイミングよく ロン D. バートン RI 会長より、雪国魚沼 RC の申請が通り、50周年証書が贈られ、ガバナーから岡村会長に手渡されました、おめでとうございます。

さてアトラクションは、地元主体少年少女劇団 キッズミュージカル「魚沼産☆夢ひかり」によるダイジェスト版 飛べない竜の子の物語・・・感激。

そして懇親会 地元銘酒のほか飲み物色々、肴はたいしたことなくても、昔ながらの田舎ゴツツオその他(盛り沢山 食べきれない!?) 和やかな新しい中で、先般のゴルフ大会の表彰式パチパチ。お名残惜しいところで閉宴。おもてなし出来ないなかで労いのお言葉あり・・・感謝かんしゃ。

追伸 ガバナーはお泊りで、多少お時間いただいてメンバーとともに次の席へ。ここでもおもてなしよりまず自分中心、その最たる者——この報告者・・・!?

ガバナー ゴメンナサイ 皆さんありがとうございました。



第1回 米山奨学委員長セミナー報告書

米山記念奨学委員会
寄付増進委員長
宇尾野 隆 (新潟 RC)

9月28日(土)にANAクラウンプラザホテル新潟の於いて本年度第1回米山奨学委員長セミナーが開催されました。

当日は、山崎ガバナーはじめ佐々木ガバナーエレクト、植木(財)ロータリー米山記念奨学会理事の出席をいただき、第2560地区の49クラブの米山奨学委員長にご参加をいただきました。山崎ガバナー、佐々木ガバナーエレクト、大橋地区米山奨学委員長のご挨拶に続き、米山奨学生の季 勝済さん(イ・スンジェ 韓国 新潟南RC)とグエン・ティ・トゥイ・ガーさん(ベトナム新潟東RC)お二人から現在奨学生として生活を送っている経験談をお話いただきました。その後、2013-14年版の米山記念奨学会の豆辞典のパワーポイントを使い、最新の情報を交えながら米山奨学制度の現状と制度について説明が行われ、「各クラブの取り組みの現状確認と米山奨学制度の更なる充実の為に」というテーマで7つのグループに分かれて討論を行っていただきました。

各クラブからは、より多くの寄付金を徴収するための方法などの事例が発表され、寄付金と米山奨学制度の意義について意見交換がなされました。討議終了後、各グループの代表者より各グループの意見が発表され、今後の事業遂行に参考になるディスカッションになったと思います。

最後に、植木理事より講評をいただき参加者の皆様は、再度米山奨学事業に対する認識を深め各クラブでの事業を充実させる決意を新たにしていました。



「地域の資源・資産を知る 生かす 創る」

青少年奉仕委員会
ライラ委員長
小林 英介（柏崎 RC）

国際ロータリー第 2560 地区 第 13 回ライラ研修会は、10 月 5 日(土)～6 日(日)に柏崎ロータリークラブをホストクラブとして、研修生 82 名の登録のもとに開催されました。講師に竹内純子氏(NPO 法人国際環境経済研究所)をお迎えし、柏崎をモデルケースとして「環境とエネルギー」というトレードオフの関係を切り口に研修を進めました。

初日は竹内氏の研修テーマによる基調講演、柏崎夢の森公園の里山探索や東京電力柏崎刈羽原子力発電所の視察により地域の資源・資産を学習しました。また、夜の交流懇親会は仲間づくりを目的に若者たちの活気あふれる交流の場となりました。

2 日目は、初日の題材をもとに地域づくりのためのグループディスカッションと成果発表会。3 時間に及ぶ討議の末に 10 のグループから個性あふれる提案がなされました。

閉講にあたり、出会った仲間たちと修了証書をかざして記念撮影。その研修生の笑顔が何よりの研修の成果だと実感いたしました。

本年度のライラ研修に際しまして、ご指導賜りました山崎ガバナー始めご関係の皆様、この場をお借りして心より御礼申し上げます。ありがとうございました。



地区大会記念親睦記念ゴルフ大会

地区大会記念 親睦ゴルフ実行委員長
松澤 昌雄 (村上 RC)

国際ロータリー第 2560 地区 2013～2014 年 山崎ガバナー年度 地区大会記念 親睦ゴルフ大会が、10月10日(木)日本海カントリークラブを会場として、県内各クラブより 294 名の登録、270 名 (76 組)の参加出場者で開催されました。これはロータリーの大会史上で記録的かと思ひますし、日本海カントリークラブでも初めての事と申しておりました。

終日 西・中・東コースを借り切り、快晴でさわやかな秋空の下でプレーを楽しむことができ、参加者の皆様も日本海カントリークラブも、心配から喜びに変わったことと思ひます。

前日までは、台風24号が通過する旨の報道でありましたが、温帯低気圧となり、当日はうって変わって良い天気に恵まれました。これは 270 名の皆様のご精進の賜物で御座いまして、ありがたく感謝を申し上げますところでもあります。

ワンオンチャリティは総額 224,000円もの浄財を集めさせて頂きました。ワンオンされた方々からも好意的にご協力をいただき感謝申し上げます。

尚、団体賞1～3位を地区大会 会場で表彰致します。皆様のご協力により、日没前に全グループのプレーが終了しましたことにつきまして、改めて厚く御礼申し上げ、ご挨拶と致します。



ロータリー地域協働ネットワークセンター活動報告

ロータリー地域協働ネットワークセンター長
鈴木 重壺

本年度も地区内の緊急連絡網整備を皮切りにネットワークセンターの活動が開始されています。

地区スローガンとして掲げられた「備えよう！大震災の心構えを！」への理解と具体的な取り組みを進めるため10月13日には地区内のクラブ会長、ガバナー補佐、ガバナースタッフを招集し下記の内容でセミナーを開催。参加者の真剣で前向きな姿勢に感動すると共にセンターの役割の重要性を再認識する有意義なセミナーとなりました。

記

1. 日時と場所 2013. 10. 13(日) 10:00～15:00 きおくみらいセンター(長岡市)
2. 開催内容 第1部:パネルディスカッション(災害発生・その時どうしたか)
第2部:ワークショップ(私たちに出来る事・すべき事)
3. 参加者へのアンケート結果
39クラブの参加で95パーセントの高い確率でご理解いただきました。主な内容としては下記の通りです。

1) 第一部のパネルディスカッションは如何でしたか？

- ・目から鱗、知らなかった事を聞いて理解を深められた。
- ・災害時の現場状況が理解出来、ネットワークセンターの目的を良く理解した。
- ・ネットワークセンターの必要性和構想が良く理解出来た。
- ・備えの大切さをよく理解した。即実行したい。
- ・災害時の無我夢中をよく理解した。他人ごとではない現実に対応できることの大切さを感じた。

2) 第二部のワークショップは如何でしたか？

- ・参加者の意見に重みがあり、参加型の意見交換会の大切さを良く理解した。
- ・個人の力には限界があり、いざという時のために自分のクラブへ徹底すべきと感じた。
- ・防滅災に対し自分のやるべき事を理解した。
- ・災害に対する意識UPの必要性を再認識した。
- ・多くの意見を聞く事が出来、考え方が整理できた。

3) セミナー感想の他、RC や地域協働ネットワークセンターに対する要望、意見がありましたら記述を。

- ・分区でのセミナー化が重要、自クラブでも理解度の深耕に務める。
- ・本セミナーなど各種情報の発信をお願いしたい。
- ・防減災の話をクラブに来て話して貰いたい。防減災に対する意識の高揚を！
- ・クラブ内でも防減災の体制作りを進めたい。早く実施したい。
- ・地域協働 NWS の継続発展を要望。ロータリアンの一人として協力して行きます。
- ・第2560地区だけでも、早く防減災の体制作りを願いたい。
- ・クラブへの理解を深めるために、講師要請に積極対応をお願いしたい。
- ・各クラブが取り組むべき要点を明確化して下さい。クラブはそれに付け足して実行します。

今年度でネットワークセンターは開設2年目となります。皆さんからのご意見とご理解の元に、よりその機能の進化に努めてまいりますのでご支援ご協力をよろしくお願いいたします。



～ パネルディスカッション ～



～ ワークショップ風景 ～

2013-2014年度 RIテーマ ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を

2014年シドニー国際大会のご案内（第一報）



地区RI国際大会参加推進委員会
委員長 桑原 明（第一分区G補佐）

2014年 RI国際大会は2014年6月1日（日）から4日（水）かけてオーストラリア・シドニーで開催されます。当地区国際大会参加推進委員会は下記のコースを企画いたしました。折角、行かれるオーストラリアですのでシドニーだけでなくリゾート地ゴールドコーストから周遊し、国際大会開会式参加いたします。尚、大会2日目も参加希望者には参加できるオプション（大会又は観光）形式といたしました。又、2560地区ナイトを企画、コアラを抱けるお子様ご家族お誘い合せになり世界中のロータリアンと、新たな出会いを楽しみましょう。

尚詳細は【参加費用、ホテル、登録方等】のご案内は11月又は12月頃、再度ご案内いたします。

日次	月日(曜)	地名	現地時間	交通機関	予 定	食事
1	2014年 5/29 (木)	成田空港集合 成田空港発	17:30 19:50	JL771便	成田空港集合後、簡単な結団式 空路、直行便にてシドニーへ (所要約10時間45分) 《機中泊》	夕:機内
2	5/30 (金)	シドニー空港着 シドニー空港発 ゴールドコースト空港着 ゴールドコースト	07:35 午前 午後	航空機 専用バス	到着後、 国内線に乗換えゴールドコーストへ ゴールドコースト観光 世界的な有名ビーチリゾートをご案内 パラダイスカントリーではコアラ体験 や羊の毛刈りショーなど楽しみ 《ゴールドコースト泊》	朝:機内 昼:○ 夕:○
3	5/31 (土)	ゴールドコースト 終日 エアーズロック Ayers Rock ゴールドコースト空港発 シドニー空港着	夕刻	専用バス 航空機	自由行動 世界遺産土ボタルと星座ツアーや ゴルフ/テーマパークなど 多彩なオプションツアーをご用意 ゴールドコースト空港へ 国内線にてシドニーへ 《シドニー泊》	朝:○ 昼:一 夕:一
4	6/1 (日)	シドニー	午前 午後	専用バス	バスにて、RI会場へ RI国際大会開会本会議出席 友愛の家にて国際親善交流など ホテルへ帰着後、自由行動 《シドニー泊》	朝:○ 昼:○ 夕:一
5	6/2 (月)	シドニー 終日	夕刻	専用バス クルーズ	大会2日目参加 又は オプションツアーでシドニー観光 ハーバーシティシドニーの魅力を様々 な場所を訪れながら満喫頂きます。 世界遺産のオペラハウスなど 最後の晩は2560地区ナイト として 夜を華やかに彩る ディナークルーズ へご案内 《シドニー泊》	朝:○ 昼:○ 夕:○
6	6/3 (火)	シドニー シドニー空港発 成田空港着	朝 09:15 17:05	専用バス JL772便	シドニー空港へ 空路、直行便にて帰国の途へ (所要約8時間50分) 入国後、解散 ～大変お疲れ様でした～	朝:○ 昼:機内

“注” 世界大会は午前の部は9:45から 午後の部は15:30からとなり、RIから入場時間割り当ては直前決定されます事ご了承ください。
又、新潟空港発ソウル経由は復路がソウル泊となり、6/4翌日ソウル発18:00 新潟着19:55となり述べ7日間となりますので成田発といたしました。



2013年10月11日発行 [月刊]
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

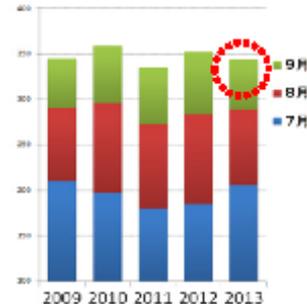
ハイライトよねやま 163

1 寄付金速報 — 米山月間へのご協力をお願いします —

9月までの寄付金は前年同期と比べ2.3%減、約790万円の減少となりました。今年度は好調を維持していましたが、普通寄付金が0.4%増えたものの、特別寄付金が5.8%減と、やや減少傾向となりました。今月は米山月間です。皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

普通寄付金分の確定申告用領収証の申請期限は**10月31日(木)**です。当会ホームページの「寄付金について」→「普通寄付金:申告用領収証の申請はこちら」から申請してください。

*特別寄付金の申告用領収証は、申請不要です



2 アジア学院から米山記念奨学会が表彰されました



アジア学院 (Asian Rural Institute) の創立 40 周年記念式典が 9 月 16 日、栃木県内のキャンパスで開催されました。

アジア学院は 1973 年の創立以来、アジア・アフリカ・太平洋地域を中心とする農村リーダーの人材育成を行っており、第 2550 地区では「地区奨励奨学会」の指定校とし支援しています。今回、これまでにアジア学院で学ぶ 212 人 (29 カ国) を支援した功績が評価され、板橋敏雄理事長に感謝状が授与されました。

式典には、ロータリー関係者として黒羽 RC、西那須野 RC、東京南 RC の各会員、宮崎幸雄元事務局長、岩邊俊久事務局長らが出席し、全体で 300 人ほどが参加する盛大な会となりました。

3 米山月間にこんな例会はいかがですか？

10 月の米山月間にお使いいただける資料を 9 月下旬に全クラブへ送付しました。お手元に届きましたか？これらの資料をご活用いただくほか、奨学生・学友による卓話の機会を作ってください、米山記念奨学事業への理解を深める月間にしていただきますよう、よろしくお願いいたします。

▶ 豆辞典とパワーポイントを使ってプレゼン

米山月間資料として全会員数分お送りした『豆辞典』をテキストに、解説用パワーポイント(当会HPからダウンロードできます)を使って米山奨学事業についての卓話をする



▶ DVDを使って直感的な理解を

当会では数種類の動画を用意しています。事業の概要を解説する「ひろがれ！人づくりの輪」のほか、巣立った学友の紹介、イベント記録動画などがあります。いずれも 10~15 分ですのでぜひ例会で上映してください。ご希望のクラブにはDVDを無料で送付します。

▶ 何と言っても奨学生・学友の生の声が一番！

やはり、ロータリアンが最も関心を寄せているのは、現役奨学生や学友による卓話です。世話クラブになっていないクラブを含め、奨学生らが卓話行脚にまわる地区もあります。10 月の米山月間に限定せず、できるかぎり、彼らの生の声を聞く機会を持ってください。

4 留学生感想文コンテストで米山奨学生が最優秀賞受賞



「国際博物館の日」記念事業の一環として実施された、上野ミュージアムウィーク（UMW）留学生感想文コンテスト（主催：上野のれん会他）において、長野大学 3 年の米山奨学生、白柳燦さん（韓国／2013-15／上田 RC）が最優秀賞を受賞しました。留学生ならではの視点で、上野の文化施設を初めて訪れた感想を綴った白さんのエッセイは、審査員から高い評価を得て、最優秀作品 2 編のうちの一つに選ばれました。白さんは「最優秀賞を頂き、ありがとうございます。上野のミュージアム巡りは、いつもの生活から抜け出し、一人の時間を楽しみ、文化的な体験ができた幸せな時間でした。上野で見たことをきっかけに、今後は世界で視野を広げていきたいと思っています」と、受賞の喜びを語っています。

5 高校で国際交流奉仕活動を実施 — 東京米山友愛 RC —

米山学友を中心に設立されたクラブ、東京米山友愛 RC と東京米山ロータリー E クラブ 2750 が合同プロジェクトとして、9 月 28 日、東京都立小平高等学校で国際交流の授業を実施しました。

発起人の東京米山友愛 RC 会員、朴貞子さん（中国／2006-08／岸和田 RC）は、第 2640 地区での奨学生時代に、地区米山奨学委員会が企画した高校生との交流事業に参加。「とても感動し、一生の思い出になったその活動を、ロータリアンとなった今、クラブのメンバーや関東地区の米山奨学生と一緒にぜひ再現したい」と提案し、仲間と共に受け入れ先の高校を探して、3 年がかりで実現にこぎつけました。

当日は、同校の 2 年生 281 人と、両 RC 会員や現役米山奨学生ら 37 人が講師として参加。台湾への修学旅行を控えた生徒たちに中国語の授業を行ったほか、さまざまな国籍の会員・奨学生が母国について紹介するグループ授業を行いました。どのクラスも和気あいあいと笑顔の交流が図られ、生徒からは「講師がフレンドリーで、とても楽しかった」「話が尽きなかった」「一生懸命私たちに教えてくれているのがすごく伝わった」などの感想が寄せられました。また、副校長からは「開校から 50 年経つが、今日はまさに画期的な日。ぜひ継続をお願いしたい」との講評がありました。



朴さんは「皆のチームワークのおかげで大成功を取めることができ、感謝しています。ロータリアンが支援した米山奨学生が、“日本の未来”である高校生のために貢献することは、ロータリーだからこそできる奉仕。今回参加した奨学生たちが同じように次の奨学生を引っ張って、米山の精神を継続していくことを期待しています」と、語りました。



発起人の朴貞子さん

よねやま親善大使ってどんな人？

初代よねやま親善大使に選ばれた二人の学友を紹介する最新 DVD（12 分）が完成しました！ホームページで視聴できるほか、希望者には DVD をお送りします。お問合わせは事務局広報担当まで。



公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15
黒龍芝公園ビル 3F

Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281
E-mail : highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL : http://www.rotary-yoneyama.or.jp/
編集担当：野津・塚

平成25年10月25日

ガバナー各位

ロータリー文庫運営委員会
委員長 戸田一誠

拝啓

霜降の候、貴ガバナーはじめスタッフの皆様には益々ご健勝にてご活躍の事とお慶び申し上げます。
また常々文庫へのご協力を心から感謝致しております。
このたびは、下記10点をご紹介しますので「ガバナー月信」にご掲載下さるようお願い致します。
なお今後ともご活躍とご成功を心からお祈り致しております。

敬具

追伸 下記ご掲載の場合は〔申込先〕もご記載下さるようお願い致します。

文庫通信 (314号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。
ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。
クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。
以下資料のご紹介を致します。

地区大会講演より

- ◎ 「ロータリーにおける不易流行とは（パネルディスカッション）」
沢島武徳(コーディネーター) 2013 10p (D.2630地区大会記録誌)
- ◎ 「それでこそロータリー」 関場慶博 [2013] 14p (D.2530地区大会記念誌)
- ◎ 「新世代に伝えるべきこと(トクセッション)」 新浪剛史 他 2013 5p (D.2720地区大会記録)
- ◎ 「新世代の育成に情熱を！！」 岡村泰岳 2013 4p (D.2740地区大会記録)
- ◎ 「善き仲間と共に」 中村靖治 2013 6p (D.2720地区大会記録)
- ◎ 「これからのロータリー～新世代育成の現状と展望(シンポジウム)」
茂木正光(コーディネーター) 2013 5p (D.2580地区大会の記録)
- ◎ 「職業奉仕の理念と実践」 黒田正宏 [2013] 3p (D.2730地区大会記録誌)
- ◎ 「職業奉仕の基本理念」 深川純一 [2013] 4p (D.2730地区大会記録誌)
- ◎ 「シェルドンから学ぶ」 田中毅 [2013] 3p (D.2730地区大会記録誌)
- ◎ 「時代を先駆けたシェルドン職業奉仕の実践」 小船井修一 [2013] 4p (D.2730地区大会記録誌)

〔上記申込先：ロータリー文庫〕

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3階
TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日

第2560地区 2013-14年度 9月末 会員数および出席報告

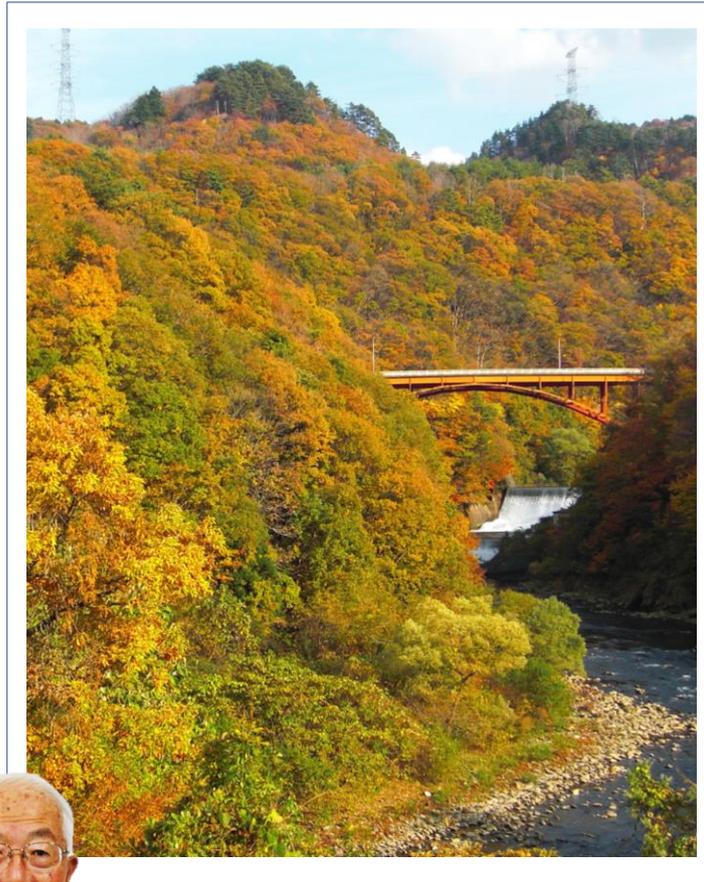
R C	例会数	出席率	会員数			
			7月1日現在	9月末会員数	うち女性	増減
第1分区(9クラブ)	3	90.89	345	346	35	1
新発田	3	98.78	85	85	0	0
村上	4	88.28	32	32	6	0
水原	3	84.00	26	26	1	0
中条	3	90.63	31	32	3	1
新発田城南	4	94.84	42	42	6	0
豊栄	3	92.30	26	26	4	0
新発田中央	4	91.95	50	50	5	0
中条胎内	3	87.36	29	29	5	0
村上岩船	3	89.86	24	24	5	0
第2分区(9クラブ)	4	87.37	405	424	17	19
新潟	4	87.19	83	91	0	8
新潟東	4	91.38	53	54	4	1
新潟南	4	89.26	85	90	0	5
佐渡	4	87.50	12	12	0	0
新潟西	4	82.82	32	33	1	1
佐渡南	4	98.80	42	45	5	3
新潟北	3	79.09	36	36	0	0
新潟中央	4	88.41	23	24	1	1
新潟万代	3	81.85	39	39	6	0
第3分区(6クラブ)	4	78.81	138	139	8	1
新津	4	70.20	25	26	1	1
村松	4	80.00	9	9	0	0
五泉	4	92.23	21	21	3	0
白根	4	79.00	43	43	2	0
新津中央	4	75.25	31	31	1	0
阿賀野川ライン	3	76.20	9	9	1	0
第4分区(11クラブ)	4	82.44	352	361	18	9
三条	4	84.64	54	56	0	2
燕	4	70.61	25	28	1	3
加茂	3	78.12	31	32	5	1
三条南	3	95.38	44	45	0	1
分水	4	83.30	29	29	2	0
見附	4	71.00	18	20	1	2
吉田	4	89.30	33	33	1	0
三条北	5	79.72	71	70	3	-1
巻	3	100.00	11	11	0	0
田上あじさい	4	70.80	6	6	1	0
三条東	4	83.93	30	31	4	1

R C	例会数	出席率	会員数			
			7月1日現在	9月末会員数	うち女性	増減
第5分区(7クラブ)	4	89.54	300	306	30	6
長岡	4	88.75	37	41	2	4
柏崎	3	92.91	47	47	0	0
長岡東	3	91.20	63	65	7	2
柏崎東	3	98.48	44	44	4	0
栃尾	4	74.74	25	24	0	-1
長岡西	4	85.12	44	45	5	1
柏崎中央	3	95.61	40	40	12	0
第6分区(6クラブ)	3	86.00	148	148	6	0
十日町	3	92.53	32	32	0	0
小千谷	4	84.33	38	38	3	0
雪国魚沼	4	72.20	21	21	1	0
十日町北	4	95.45	22	22	1	0
津南	3	92.00	24	24	1	0
越後魚沼	4	79.50	11	11	0	0
第7分区(9クラブ)	4	86.39	302	306	27	4
高田	4	96.57	58	58	1	0
直江津	4	94.29	37	40	2	3
新井	4	75.00	29	30	3	1
糸魚川	3	78.72	36	37	1	1
妙高高原	2	100.00	4	3	0	-1
高田東	3	73.68	38	38	3	0
糸魚川中央	4	82.03	33	33	0	0
頸北	4	80.40	15	15	1	0
越後春日山	5	96.82	52	52	16	0

クラブ数	57 クラブ
7月1日 会員数	1,990 人
9月末 会員数	2,030 人
女性会員数	141 人
純増減会員数	40 人
当月平均出席率	86.04 %



ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2560



国際ロータリー第2560地区 山崎ガバナー事務所

〒959-2627 新潟県胎内市野中 490-3 新和ヒルズ 2F
Tel.0254-28-8822 FAX0254-28-8826
E-mail:k.yamazaki@rid2560niigata.jp